

第2回 あさみ夏まつり 盛大に開催される!

= 幼稚園夕涼み会・盆踊り大会・花火大会 =

地区上げての開催に「しょうがい音頭保存会」が協力出演

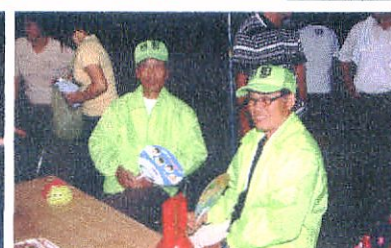
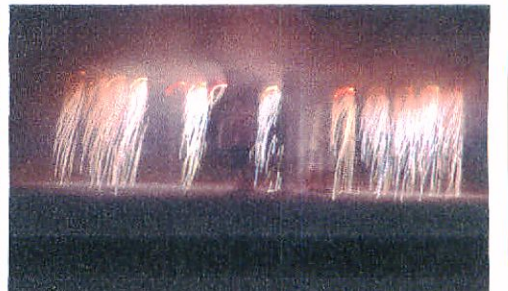
あさみ会報

朝見まちづくり協議会
あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮町 209-4
朝見地区市民センター内
電話 0598-52.0007
2008.09.01 発行

第 18 号

平成20年8月10日(日) 18時より幼稚園の夕涼み会が開演、浴衣姿の園児や保護者を前に、谷川雅之PTA会長の開会挨拶から始まった。濱田晶子先生から夕涼み会の説明があり、くじびき・よーよー・わなげ・今日の日の為に、みんなで作った商品が「めがねや」、「らっぱや」の夜店にいったい並べられた。みんな夜店こっこをして、「めがねを下さい!・らっぱを下さい!」など、元気な声飛び交い楽しんだ。また回りでは園児の家族や親子で記念撮影を楽しんでいた。最後に園児保護者全員で盆踊り舞台を囲み、アンパンマン音頭、夏まつりを元気いっぱい踊り夕涼み会のフィナーレを楽しんだ。回りは、沢山の参加者が笑顔で園児の踊りを見守っていた。会場受付ではPTA役員皆さんが担当し、参加者は福引を行い、大当たりする度に鐘がならされ、景品に歓声が上がっていた。19時からには、盆踊り大会が始まり、力強い太鼓の響きから、しょうがい音頭が始まり、保存会の皆様による流暢な音頭とともに、そろいの浴衣姿によるしょうがい音頭踊りに見入った。今回は長谷川征義(下七見町)さんと交流の深い「松阪しょうがい音頭保存会」の音頭取り4名の方と踊りの方達のご協力を得た。浴衣姿の子ども達から大人まで、保存会の踊り手の方々を中心に、老人会

の、そろいのユニホーム姿や飛び入りで大きな輪となった。しょうがい音頭踊りも本格的な盆踊りとなった。近年盆踊りの催し物が無く、ほとんどが見よう見真似で踊った。また、年配の方々は若き日の踊りがよみがえり、郷土の踊りに思いを寄せる機会となった。20時30分からは花火大会行なわれ、打ち上げ場所を、ケリりと取り囲んだ花火が打ち上がる度に歓声や拍手がわき、最後のナイアガラの花火には感動が沸いていた。夜店屋台では「そうめん」に老人会(寿会)、「カキ氷・お茶」は自治会長の皆さん、「焼きそば・フランクフルト」住民協議会役員を中心に担当をした。それぞれの夜店には買い求める行列が出来ほどであった。20時には売り切れてしまった。本年は400名を超える参加者がありました。無事故で終えることが出来ました。「あさみ夏まつり」にご協力頂いた方々、役員の皆様に感謝申し上げます。



第4回介護家庭の集いが開催される 在宅介護をされている家族の集い

6月23日月曜日13時30分、会場「さくらテラス」(地域密着型サービス)を会場に行われた。この施設は、グループホーム、認知デイサービス、小規模多機能型居宅介護事業を行う施設として、朝見地区内に建設された。今回は参加したメンバー8名が、津谷管理者より施設の説明を受けながら見学をした。充実した施設の内容やいつても相談ののつてもらえることを知り、身近にあることを知り安心をした。その後、参加者一人ひとりが時間の過ぎるのも忘れるほど、話題で盛り上がった。認知症で戸惑う家族、介護に心労を削る人、判つていても感情が出てしまつ場面、デイサービス

老人会と福祉部会が共催

各町で高齢者ふれあい出前講座・

二番目・上七見町、三番目・朝田町
ひとり一人に優しい地域活動を推進!

平成20年7月15日火曜日13時30分より、上七見町公民館にて開催。朝見地区内に点在する10町には、沢山の高齢者が町を守っている。元気が高齢のため市民センターや公民館行事に参加できない人たちがいる。その方たちに、楽しい話らしいの場を提供して、行政やまちづくりの情報をあつちつくりの企画を知つてもらおうとの企画である。行政の情報・健康・食事・防災・防犯など、出前講座として交流して行きた。風間家の周りの仕事や留守番をして家に居る方は、町の番人家の守り人です。昔から、町内を散歩する、在宅のおじいちゃん



ん!おばあちゃん!の存在は大きい!上七見町では約30名にのぼる男女高齢者の方が参加した。

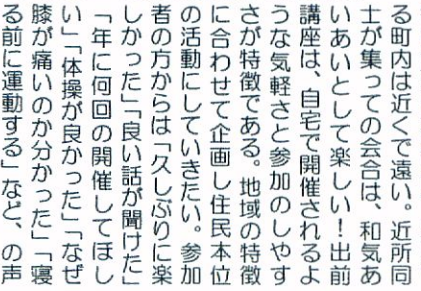


↑出前講座に聞き入る参加者の皆さん(上七見町)

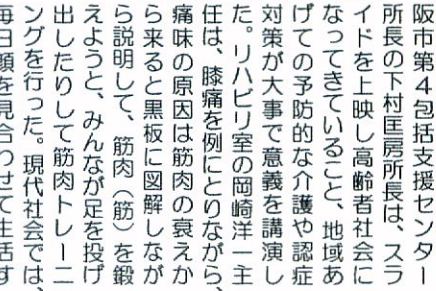
平成20年8月7日13時、30分より朝田町公民館に、盛夏の中を三反五反と町内の高齢者の方が参加。みんな参加しましょう!との思いを込めた町別出前講座。約

↑とまと一ず交通安全教室(上七見町)

平成20年8月7日13時、30分より朝田町公民館に、盛夏の中を三反五反と町内の高齢者の方が参加。みんな参加しましょう!との思いを込めた町別出前講座。約



↑長島氏の防災講演と朝田町の参加者の皆さん



40名の男女老人会のメンバーが、喜々として集った!開会挨拶を藤井たみ子寿代会長は、隣近所が気軽に参加できる会合とし、福祉部会と協力して開催する意義を語った。出前講座では、はじめに元消防署所長の長島廣一郎氏は手振り身振り、大地震の時は、先ず自分を守ることにし、机の下などにもぐり頭を守ることを。隣近所と仲良くして、助け合うことが大事など体験を通して語った。松阪市第4包括支援センター所長の下村匡房所長は、スライドを上映し高齢者社会になつてきていること、地域あげての予防的な介護や認知症対策が大事で意義を講演した。リハビリ室の岡崎洋一主任は、膝痛を例にとりながら痛みの原因は筋肉の衰えから来ると黒板に図解しながら説明して、筋肉(筋)を鍛えようと、みんなが足を投げ出したたりして筋肉トレーニングを行つた。現代社会では毎日顔を見合わせて生活する町内は近くて遠い。近所同士が集つての会合は、和気あいあいとして楽しい!出前講座は、自宅で開催されるような気軽さと参加のしやすさが特徴である。地域の特徴に合わせて企画し住民本位の活動にしていきたい。参加者の方からは「久しぶりに楽しかった」「良い話が聞けた」「年に何回の開催してほしい」「体操が良かった」「なぜ膝が痛いか分かった」「寝る前に運動するの良かった」など、声があつた。これからは高齢者社会!一人ひとりを大切にしたい。地域の構築に取り組みで行きたい。安心安全の地域づくりを目指す。

(青少年育成部事業) サマーサイクリング

早朝のさわやかな 田園風景の中 行われる。

子ども達、スタッフを含め33名が参加し、午前6時30分に朝見小学校を出発しました。目的地は昨年同様、東部中学校。交通の要所には先回りしたスタッフが出発地安全を確認し無事に出発地点まで戻つて来ました。



猛暑日の翌日とあつて早朝にもかかわらず蒸し暑かつたのですが、時より吹く、穂のつけ始めた田をわたる、そよ風が非常に心地よく感じられ、また普段から見慣れて

いるごく普通の風景ですが、サイクリングしながら見ると普段と違つて見えました。サマーサイクリング終了後は子ども達を対象にささやかな早起きの御褒美に「宝さがし大会」を実施し、はしやぎながら当たつた景品を見せびらかしていた子もいたようです。全員が無事故で帰宅して終了しました。ご協力いただきました方々、スタッフの方々お疲れ様でした。早朝の子ども達の笑顔ががんばつて早起きしていただいた方への「最高の御褒美」かもしれませんね。殿内部長が就任されて、最初の青少年育成部会の事業となりました。部会の役員の方々が裏方となつて、無事大成功となりました。

防犯部会 防犯講演会を開催。

平成20年8月5日19時30分より、朝見市民センター会議室にて、防犯委員を対称に講習会を開催。約20名のメンバーが仕事を終えた中さんかをする。4月より防犯パトロールに着任されて、具体的なノウハウを感じながら講演に聞き入つた。



記編集後
まちづくりの行事が始まり、その模様を写真で沢山載せたかったのですが、枚数が限られてしまいました。これからも沢山の方に読んで頂けるよう努力して参ります。紙面の都合で「災害時協力企業コーナー」休止しました。



が地域の安全を確保しているとし、パトロール実施の労をねぎらつた。松阪警察署の庄司係長の講演で始まり、最初に防犯活動のヒミツを鑑賞して、防犯活動のあり方、安全を学んだ。特に異変に遭遇した場合は、無理をせず警察署に通報するように。地域環境部会
取り組み!
平成20年8月1日19時30分より、防犯部会を開催。事業計画の検討を行った。全員の総意で美化運動の「のほり旗」の制作、美化運動啓発のポスターの制作(小学校の児童に依頼)、恒例となつた1号3号幹線水路の美化清掃、空き缶拾いなど具体的な活動や日程を協議した。日程や活動の様子は「かわら版」「あさみ会報」などで順次報告していきます。住民の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。